

デジタルアーカイブ学会シンポジウム
「博物館デジタルアーカイブの現在地（第2回：利活用編）」

ミュージアムグッズと データ活用

ミュージアムグッズ愛好家 大澤夏美
2025/1/30

大澤 夏美（おおさわ なつみ）

ミュージアムグッズ愛好家

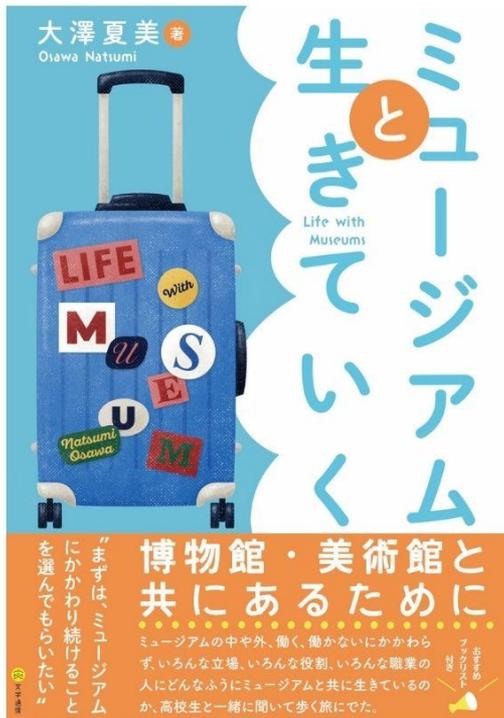
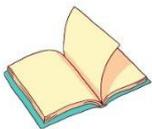
1987年生まれ。札幌市立大学でメディアデザインを学ぶ。在学中に博物館学に興味を持ち、卒業制作もミュージアムグッズがテーマ。北海道大学大学院文学研究科（当時）に進学し、博物館経営論の観点からミュージアムグッズを研究し修士課程を修了。会社員を経てミュージアムグッズ愛好家としての活動を始め、現在も「博物館体験」「博物館活動」の観点からミュージアムグッズの役割を広めている。

2023年4月より、北海道大学大学院文学院人文学専攻文化多様性論講座博物館学研究室で博士後期課程に進学。



写真：菅末里

『ミュージアムと生きていく』



いずれは大学で歴史学や文学、博物館学を学びたい。将来は学芸員の仕事に興味がある。けれど、採用の間口の狭さや雇用の不安定さへの不安もある…そう考えている高校生の博子さんと、ミュージアムグッズ愛好家の著者がいろんな人たちにお話を聞いてまわりました。

いろんな立場、役割、職業の人たちは、どんなふうにミュージアムと共に生きているのか。ミュージアムにまつわる進路、生き方、人生の本。

著者：大澤夏美
出版社：文学通信
価格：1,980円（税込）
5月中旬発売予定

MUSEUM
GOODS
passport



博物ふえすていばる！2024
先行販売の新刊！

特集① 俳優の曾田昇吾さんと
江東区深川江戸資料館で博物館
体験！
特集② 國學院大學博物館で吟
行にチャレンジ！
特集③ 「映画あるある」をア
クセサリーにしている
PINEMAさんにインタビュー
特集④ 北海道大学大学院文学
院の阿部麟太郎さん寄稿

「ミュージアムグッズパスポート」vol.7
700円



ミュージアムグッズや
ミュージアムショップ
って何だろう？



ミュージアムショップ：
博物館のコンセプトが品
揃えや雰囲気にも反映され
た物販施設

ミュージアムグッズ



オリジナル グッズ

館が所有するコレクションや、館のロゴ、建築デザイン等の財産を活用して開発した館独自の商品

既存の商品

専門の卸売業者や他館のミュージアムショップ等から仕入れた商品

教材とミュージアムグッズの違い

理科教材の開発・販売会社である(株)ナリカへのヒアリングなどから、「教材」には教育の場ゆえの正確性、多くの児童生徒が使うゆえの耐久性、繰り返し使うゆえの耐用性などが求められていることがわかった。「教育の目標」をいかに達成するかに重点が置かれるのである。

教材とミュージアムグッズの違い

ミュージアムグッズは、社会教育の場として教育性はあるものの、明確な学習到達目標が不明確であるといわれる。それは、ミュージアムグッズにはミュージアムの展示や教育プログラムから発せられた「興味関心」や「驚き」を持続させ、さらに深めさせる媒介の役割が求められる、と考えられていたからである。そこでは、科学技術の理解増進のみならず、さらにコミュニケーションへといざなうために、質の高い学習教材の開発とともに多面的な価値を持つデザイン性やキャッチコピーなども大切な要素とひとつとなってくる。

先行研究から見るミュージアムショップの役割

ミュージアムショップは、

- 博物館にとっては教育普及、広告宣伝、収益
- テナントにとっては収益、ステータス
- 利用者にとってはショッピングの楽しみ、感動や知識の再確認、知的コミュニケーションの道

という意味を持つ。

先行研究から見るミュージアムショップの役割

ミュージアムショップは展示の延長としての役割を果たし、ミュージアムグッズには来館した記念として、また鑑賞の経験や知識を持ち帰る役割がある。



ミュージアムグッズ とデータ活用



埴輪4種が箸置きに 「ぐんまのはにおき」 登場 県立歴史博物館 の3Dデータを活用、三美堂が商品化 古墳大国の群馬県をPR

経済 社会 地域の話題

公開：2024/4/14 09:00

シェアする

ポスト

LINEで送る



ギャラリーを見る

精巧に再現した「ぐんまのはにおき」を紹介する吉村社長

商品化したのは、2018年に県などが行った県内で出土した埴輪の人気投票「群馬HANIー1（はにわん）グランプリ」で1位に選ばれた「笑う埴輪」の他、「家形埴輪」「鞍（ゆぎ）形埴輪」「大刀（たち）形埴輪」のいずれも藤岡市で出土した計4種類。箸置きに適した形を選定した。

同市には埴輪の窯跡や製作者が居住していたとされる集落、埴輪との関わりが深いとされる土師神社などがあるため、モチーフにした。商品化を受け、県文化振興課は「3Dデータの活用が広がるよう整備を進めていきたい」としている。

吉村社長は「埴輪の質感、細かい部分をリアルに表現した。本県の埴輪の製造技術のすごさを感じてもらえるとうれしい」と力を込める。

4種類のセットで4380円。自社サイト「つーーる」や県立歴史博物館、高崎オーパ1階「高崎じまん」で販売している。問い合わせは同社（☎027-362-7167）へ。

②群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者)：
群馬県立歴史博物館(群馬県)
文化観光推進事業者：
群馬県、(公財)群馬県観光物産国際協会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会

計画期間

2020年度～2024年度(5年間)

目標

- ・外国人来訪者の満足度
2019年 85%→2024年 90% (+5%)
- ・外国人来訪者数
2019年 0.3千人→2024年 0.6千人(2倍)
※10年後(2029年)には1.5千人(5倍)
- ・日本人来訪者数
2019年 110千人→2024年 150千人(約1.4倍)
- ・来館者(日本人・外国人)のリピート率
2019年 30%→2024年 60%(+30%)

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>**
 - ・希少性の高い埴輪を3Dでデジタルアーカイブし、3D展示やARコンテンツとして活用
- <2.文化についての理解促進>**
 - ・映像でビジュアル的に解説する等、ストーリー性のあるわかりやすい解説、展示解説の多言語化、ARを活用した体感型コンテンツ開発
- <3.文化観光に関する利便の増進>**
 - ・企画展に合わせた駅からの臨時バスの運行
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>**
 - ・ミュージアムショップ・カフェ・レストランの商品開発
- <5.国内外への宣伝>**
 - ・埴輪及び榛名山噴火関連遺跡を国内外にPRする映像制作
- <6.施設又は設備の整備>**
 - ・手作り埴輪の体験ができる工房の設置

文化クラスター推進事業費(令和2年度・要望ベース)

7,500万円

計画区域



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設

群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画

4. 文化観光拠点施設機能強化事業

4-1. 事業の内容

| 4-1-1. 文化資源の魅力の増進に関する事業 | |
|-------------------------|--|
| (事業番号 1-①) | |
| 事業名 | 埴輪3Dアーカイブ化事業 |
| 事業内容 | 群馬県出土の埴輪100体の人気投票したHANI-I グランプリエントリーの埴輪50体及び県外の希少価値の高い埴輪20体の3Dアーカイブ化を行う。 令和2年度 東京国立博物館収蔵の群馬県出土埴輪10体(予定) 群馬県内の博物館に展示されている埴輪40体 令和3年度 県外の希少価値の高い埴輪20体 3Dアーカイブ化した埴輪画像は、新設する「デジタル埴輪展示室」で3D展示を行うとともに、スタンブラー等の景品としてARを活用して埴輪を立体的に見ることができ るカード等で様々なコンテンツ素材として使用する。 |
| 実施主体 | 群馬県立歴史博物館 |
| 実施時期 | 令和2年度～令和3年度 |
| 継続見込 | コンテンツ素材として使用(財源:入館料) |
| アウトプット目標 | 3Dアーカイブ数 令和2年度 50体 令和3年度 20体 |
| 関連目標 | 取組強化事項1 「世界にここだけの博物館」へのイノベーション 達成する目標 ①来訪者の満足度(日本人) |

12P

| 4-1-4. 文化資源に関する工芸品、食品その他の物品の販売又は提供に関する事業 | |
|--|---|
| (事業番号 4-①) | |
| 事業名 | 文化資源を活用した商品企画開発事業 |
| 事業内容 | 埴輪や古墳などの文化資源を使ったミュージアムショップ、カフェ、レストラン等の来訪者の満足度向上に向けた商品等の開発(企画立案)を民間事業者と協働で行う。 ・内容(予定) ① ミュージアムショップ等オリジナル商品の企画開発 埴輪グッズなど、ミュージアムショップや県内事業者と協働して、来訪者の満足度向上につながるオリジナル商品等の開発(企画立案)を行う。 ② 埴輪工房の設置 来館者への新たなサービスとして、お土産となる「手作り埴輪」を制作できる工房を設置する。 ・スケジュール 令和4～6年度 オリジナル商品の開発 令和4年度 埴輪工房の設置 |
| 実施主体 | 群馬県(文化振興課歴史文化遺産室) |
| 実施時期 | 令和4年度～令和6年度 |
| 継続見込 | ミュージアムショップやカフェ等での商品提供・販売(財源:各事業者負担) |
| アウトプット目標 | 商品開発数 令和4年度 2 令和5年度 2 令和6年度 2 令和4年度 埴輪工房の設置 |
| 関連目標 | 取組強化事項6 文化資源に関する商品開発 達成する目標 ①来訪者の満足度(日本人) ②来訪者の満足度(外国人) |

20P

- 須坂市動物園のオープンデータを活用した産官学民のグッズ製作

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20240826-3012319/>

- COLBASEを使用したグッズ製作

<https://cpcp.nich.go.jp/modules/rblog/1/2023/09/14/blog146/>

- イメージ・アーカイブ・ラボを利用したグッズ製作

<https://note.minne.com/n/n008333a75368>



ミュージアムグッズ と市民参加



千葉市美術館2021年度中高生プログラム

ミュージアムグッズを 企画しよう!

千葉市美術館のオリジナルグッズを考えよう!

中学生・高校生を対象として、ミュージアムグッズを企画するプログラムを開催します。講師には、全国のミュージアムショップを巡ってグッズ研究を続ける大澤夏美さんと、グラフィックデザインの活動と並行して、ミュージアムショップの運営やグッズの企画・デザインなどを進めている丸山晶崇さんをお招きします。みんなで考えた素敵なグッズは実際に商品化されるかも!?

2020年7月の千葉市美術館リニューアルオープンを機に新しく生まれ変わったミュージアムショップBATICA(バチカ)を舞台に、ここにしかないグッズと一緒に考えてみませんか?

2022
1/29[土]
10:00-16:00
開催



アート関連の書籍や商品を中心に、千葉ゆかりの作家やメーカーのプロダクトをセレクトした千葉市美術館にあるミュージアムショップです。
<https://batica-chiba.com>

- 講師 大澤夏美(ミュージアムグッズ愛好家)
丸山晶崇(デザイナー)
- 対象 中学生・高校生
- 定員 15名(事前申込制・応募多数の場合抽選)
- 会場 千葉市美術館9階 講座室
- 参加費 無料

お申し込みはこちらから
(申込締切は1/12[水]です)



千葉市美術館2021年度 中高生プログラム ミュージアムグッズを企画しよう! 2022年1月29日(土) 10:00~16:00

中学生・高校生を対象として、ミュージアムグッズ企画のプログラムを開催しました。講師に大澤と、グラフィックデザインの活動と並行して、ミュージアムショップの運営やグッズの企画・デザインなどを進めている丸山晶崇さん。



しおんじやま古墳カフェ2022 VOL.6

対面ワークショップ&オンライン配信

ミュージアムグッズを 作って感じる！ ミュージアムの魅力

2022.6.12 (SUN) 10:00~15:00

しおんじやま古墳カフェ2022 Vol.6
@八尾市立しおんじやま古墳学習館

ミュージアムグッズを作って感 じる！ミュージアムの魅力

2022年6月12日（日）
10:00~12:00/13:00~15:00



午前の部：専門家からミュージアムグッズの見方を学ぶ。

午後の部：心合寺山古墳を素材にグッズの企画案を作るワークショップを開催。

こふんはにはに部 2022

ミュージアムグッズ探検隊 募集

こふんはにはに部は、古墳や通輪のことを体験して学んで、歴史を楽しむクラブ活動。2022年度は、心合寺山古墳だけでなく、近つ飛鳥博物館や堺市博物館など、いろんなミュージアムに行って、学芸員の案内を聞いたり、いろんなグッズを考えたり、楽しく見学。最後はオリジナルグッズを作って！学習館で展示！歴史を楽しく学ぶプログラムです。

日程

2022年8月～2023年2月まで【全7回】基本10時～16時頃まで
(8/28、9/25、10/23、11/27、12/18、1/29、2/26)
初回は、しおんじやま古墳学習館にて開催。11時集合、15時解散

対象

先着 10名

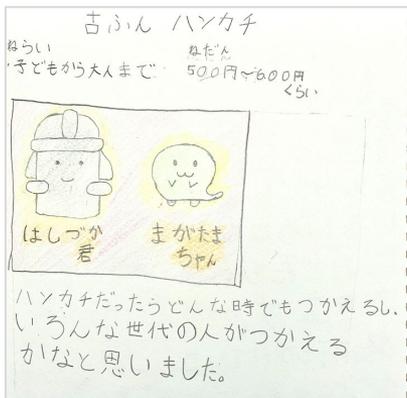
みんなと古墳を楽しめる小学4年以上の方
保護者と一緒の参加、**大人のみの申込もOK!**

申込

2022年7月27日～
夏の体験まつりと同じ予約サイトで

参加費

1人1000円(7回分・税込)
(他館見学時の入館料・交通費は別)



「ミュージアムグッズ探検隊」という連続講座を実施。参加者は小学生2名、高校生1名、大人4名の計7名。クラウドファンディングプロジェクトは、この講座で生まれたミュージアムグッズを商品化する取り組み。



2023年8月8日～9月29日で実施。当初の予定の34万円を大きく上回り、613000円でプロジェクト成立。

<https://readyfor.jp/projects/sionji2023/announcements/282674>

- 岐阜県美術館のナンヤローネSHOP

<https://x.com/gifukenbi/status/810760579858202624>

- 伊豆大島火山博物館のグッズアイデア募集

<https://x.com/izuoshimaGP/status/1853011477957132329>

- 群馬県立近代美術館のグッズアイデアを前橋工科大学の学生がプレゼン

<https://mmag.pref.gunma.jp/event/event-5672>

<https://x.com/239n/status/1845714329276162467>

ご清聴ありがとうございました。



Twitter

[@momonokeMuseum](https://twitter.com/momonokeMuseum)



日常Instagram

[momonoke.museum](https://www.instagram.com/momonoke.museum)



グッズ紹介Instagram

[museumgoodsmuseum](https://www.instagram.com/museumgoodsmuseum)